

第 18 回日中韓居住問題国際会議
オンライン開催（日本・中京大学）
のご案内

日本居住福祉学会事務局

(2021年8月1日)

■開催概要

1. テーマ

主題：「人口構造の変化と居住福祉」

<開催の趣旨>

本会議は、東アジア地域固有の環境、歴史、文化などを基盤とし、全ての人々がその人に相応しい居住をかなえられる居住空間の原理を見出し、その条件を整備することを目的としています。これまでに三ヶ国の直面している重大な居住課題を議論してきましたが、2019年の第十七回大会では「未来に向けた持続可能性のある居住地域の建設」（中国・南京）を取り上げました。

さて世界中の人や資本の自由な移動が経済の地球規模化を促していますが、人・もの・資本などの世界都市への集中は私たちの居住を大きく変容させます。人口の集中や増減、高齢化の進展や世帯規模の縮小、地域コミュニティの衰退などの居住への影響は無視できません。2020年からの新型コロナウイルスの蔓延もそうした潮流への警鐘とする見方もあります。そこで第十八回大会では近年顕在化している「人口構造の変化」に焦点を当てて、新型コロナウイルスの影響を踏まえつつ居住福祉の課題を多面的に討議することにしました。

以下3つのサブテーマを定めて、議論を深めます。

●サブテーマ1：「大都市圏への集中とその対応」

経済の世界的な繋がりが強まることで世界との連携の強い「世界都市」に国の内外から人口や資本が集中する一方で、その他の地域では高齢化・過疎化・単身化が進行しています。人口の二極化が進むとともに、文化、居住習慣の異なる人々の相互理解の促進が課題となります。

●サブテーマ2：「高齢者世帯規模の縮小とその対応」

産業構造の変化や企業経営の変化を背景に女性の社会進出や三世同居の減少が進み、世帯規模が縮小しています。特に高度経済成長を経た日本の大都市では、急激な単身高齢者の増加が推計され、地域自治体の財政問題や労働力不足による介護問題への対応困難も懸念されています。

●サブテーマ3「地域コミュニティの衰退とその再生」

一次産業や二次産業を中心とした時代には各種の協同体が機能し、世帯内、親族間、地域内で非公式な互助が形成され、暮らしが支えられてきました。しかしながら産業構造、雇用慣行、世帯構造、地域・都市構造などの変化を背景に非公式の互助が失われるとともに、政策や制度などの社会的な仕組みも対応できず居住の困難が顕在化しています。そこで各地の集合住宅の自治組織やマンション管理組合などでコミュニティの再構築が試みられています。

2. 開催期間

2021年11月5日（金）～11月6日（土）

3. 開催場所及び会場

オンライン開催（ホスト 日本・中京大学）

※参加申し込み後に、zoomの招待コードをお送りいたします。

4. 共催

「日本居住福祉学会」（日本）、「中国不動産・住宅学会・中国不動産協会」（中国）、
「韓国住居環境学会」（韓国）

■参加登録

- ① 参加資格：日本居住福祉学会、中国不動産・住宅学会、韓国住居環境学会、会員（非会員も可）
- ② 申し込み方法：下記の google フォームから、必要事項をご入力ください。
申し込み google フォーム <https://forms.gle/1zMCC5zmj1EL95DU7>
- ③ 申込期限：2021年9月10日（金）※厳守でお願いします。
- ④ 参加費：正会員：10,000円（日本国内参加者）
学生会員：5,000円
非会員：12,000円

費用内容：電子媒体による『安居楽業』と大会冊子、通訳及び翻訳費用、オンラインの運営及び管理費用、開催運営費用

- ⑤ 納入方法
お申し込み後に、参加費の振込口座をメールでお伝えします。

■会議日程（予定）

2021年11月5日（金） 会議一日目

- ・開会式
- ・第一セッション 人口集中とそれへの対応
- ・昼食
- ・第二セッション 高齢者世帯の規模縮小とそれへの対応

2021年11月6日（土） 会議二日目

- ・第三セッション 地域コミュニティの衰退とその再生
- ・第四セッション 若手研究者の報告（コロナ禍への対応など）
- ・閉会式